

令和6年 第8回嵐山町教育委員会定例会会議録

招集期日	令和6年8月28日		開会場所	嵐山町役場 会議室		
開閉の日時及び宣告者	開会	令和6年9月 3日	午前・午後 9時03分	教育長 下村 治		
	閉会	令和6年9月 3日	午前・午後 11時24分	教育長 下村 治		
委員の出席状況	議席	氏名	摘要	議席	氏名	摘要
	1	嶋本佳則	(出席) ・ 欠席	4	村田弘子	(出席) ・ 欠席
	2	船戸美津子	(出席) ・ 欠席	5	下村 治	(出席) ・ 欠席
	3	中澤恵利	(出席) ・ 欠席			
委員外出席者	高橋教育総務課長、馬橋生涯学習課長 尾針副課長 吉井指導主事 神田指導主事			書記	奥平主査	
傍聴人	有 (人) ・ (無)					

会議日程

日程 1	令和6年第7回嵐山町教育委員会会議録の承認及び署名について
日程 2	教育長報告
日程 3	議題 議案第28号 教育委員会点検・評価報告書の作成について 議案第29号 嵐山町立学校設置条例の一部を改正することについて
日程 4	協議事項
日程 5	連絡・報告事項 ① 嵐山町学校統合準備委員会委員の辞任について ② 嵐山町秋のスポーツ・フェスティバル2024について ③ その他
日程 6	その他

会議の進行状況

会議事件名	てん末	
開会	教育長	午前9時3分開会を宣言する。
日程1 令和6年第7回嵐山町教育委員会会議録の承認及び署名について	教育長	令和6年第7回嵐山町教育委員会会議録の承認及び署名について、議事録は事前に送付してあるので、内容について意見を求める。委員に諮り、原案のとおり承認する。船戸委員により署名する。
日程2 教育長報告	教育長	一覧の内容について報告する。報告について質問を求める。
	教育長	委員に諮るが、特になし。
日程3 議題	教育長	議案第28号 教育委員会点検・評価報告書の作成について
	高橋課長	教育委員会点検・評価報告書の作成について、資料に基づき説明する(P16教育総務課担当分まで)。
	嶋本教育長職務代理	P3 幼稚園・保育園との連携とはどのようなことをしているか。また、連携は新入学児童のみか。
	吉井指導主事	新入学児童に3回は行うようにしている。①前年度2～3学期②前年度3月③入学後の夏頃～2学期。①②について、学校の教員が次年度入学するについての聴き取りを園で行う。③については園の教員が学校で授業参観し、気になる児童の情報交換をする。対象は主に新入学児童だが、場合によっては他学年の児童についても様子を見ている。
	中澤委員	P5 サワトラノオについて東松山市の小学校との取組が紹介されているが、町内の学校の取組状況は。
	教育長	現在では、町内の学校では取組を行っておらず今後も今のところ予定はない。
	中澤委員	ここまで広がっているので、町内でも取組を行ってもらえるとよいと思う。
	村田委員	「確かな学力の育成」の中に幼児教育の推進があるが、学力の位置づけに違和感がある。

高橋課長	今回作成する際に「確かな学力の育成」に変更した。土井先生からも指摘があった。今後については見直しを行いたい。
教育長	今年度は教育振興基本計画の最終年度にあたる。これに基づいて重点施策も決まるため、変わっていくと思う。学力とも切り離せない部分なので、どこに入れるかが課題だとは思う。
船戸委員	P8 中学校の不登校生徒数が36名とあり、その下段に中一ギャップと書かれているが、不登校の理由は中一ギャップが多いか。
吉井指導主事	中一ギャップによる不登校は一桁の人数になるかと思う。ほとんどが、小学生時代から何かしらの課題を抱えており、中学校に入り徐々に不登校になる傾向がある。中一ギャップの解消が喫緊の課題であるとの認識から、評価調書には記載している。
村田委員	P10-11 評価調書の大半が食育に関するものであり、性教育であったり薬物乱用に関する記述が少ない。これでは力の入れ方に偏りがあるように感じる。特に性の多様性に関する教育については重点施策の中に設定があるにも関わらず、何も触れられていない。
吉井指導主事	LGBTQはここ数年で出てきた話題で、町教委としてもガイドブックを各学校に配布して授業に反映するようお願いしている。また、今年度は菅谷小中学校を対象に教職員への研修を実施したため、来年度の点検評価に反映させたい。
神田指導主事	中学校でもここ数年、制服の問題等もあり生徒の認識が深まっている。3年生に対し外部から講師を招いて性に関する教育を実施しているが、その中にも性の多様性に関する内容を盛り込んでいる。
嶋本教育長職務代理	P12 ICTを活用した教材については、教員独自のものか。教員によって差はあるのか。
吉井指導主事	教員独自のものもあり、若干の差が出てしまう恐れもあるが、嵐山町ICT活用研究推進委員会で事例を共有し、全ての教員が活用できるようにしている。
嶋本教育長職務代理	P13 スクールソーシャルワーカーの配置日数は週あたりのものか。
吉井指導主事	そのとおり。
中澤委員	P13 中学校通知表の所見欄廃止について、子ども達に向き合う時間の確保のためとすると、働き方改革に含めるのはどうかと思う。また、今後小学校でも廃止する考えなのか。
吉井指導主事	県の働き方改革事例集の中でも所見欄の廃止を取り上げている。小学校でも1学期は所見欄の記入を廃止して面談で伝えるという方法をとっている。ご指摘のとおり向き合う時間の確保ということで考えると再度検討が必要と考えている。
村田委員	面談等、別の手段で伝えられるのであれば、一番忙しい時期にわざわざ通知表に記入して伝えなくてもよいと思う。
教育長	面談で言葉で伝えるのと、所見欄という限られたスペースで文字で伝えるのでは前者の方が負担は少ないかと思う。ただ、教員の資質向上という観点では、所見欄を作成するために必要な能力が備わらない可能性が出てくるので、例えば新規採用等の職員にはそういう力をつける機会があるとよいと思う。
船戸委員	P13 町費の人的配置部分について、小中一貫教育推進講師の科目は英語か。他市町村にもそういった配置はしているのか。
吉井指導主事	主に英語である。他市町村にも違う名目で配置している事があるかもしれない。町の予算で独自に配置している講師である。
中澤委員	P16 地域の方から、学校応援団に加入したが何をしたらよいか分からないと言われた。学校応援団の取組についてもっと広報したほうがよいのでは。
教育長	活動は学校毎に異なる。学校毎に発信する形をとってもらおう。
中澤委員	学校応援団のことを地域に知ってもらおう取組を入れれば、地域の参入も広がるのでは。

	吉井指導主事	学校応援団の全容を学校が把握できているか、学校に確認したい。
	嶋本教育長職務代理	応援団に加入しているが、年に1回総会の通知は来る。
	中澤委員	総会に参加すれば活動内容等が分かるが、加入しない人には何をしているか分からず、地域に対して門戸が狭そうな印象を持っている。
	神田指導主事	玉ノ岡中学校は、ミシンや杉山城整備等の活動のジャンル別に協力をお願いしている。
	船戸委員	七郷小学校で読み聞かせをしている。知り合いの紹介で応援団を知った。協力したい気持ちはあっても存在を知らない方もいるのでは。
	馬橋課長	教育委員会点検・評価報告書の作成について、資料に基づき説明する(P17-21生涯学習課担当)。
	中澤委員	P18 放課後子ども教室と学童保育室との連携はどのようなことを想定しているのか。
	馬橋課長	学童に入れない児童に利用してもらえれば、放課後の子どもの居場所が増える。現在は週一回一時間の実施であったり一か所での実施で送迎の課題があったりするが、解消していければ福祉課で行っている事業の負担軽減にも繋がる。
	中澤委員	横浜市では18時まで放課後子ども教室、以降は学童保育室といった利用もできる。
	馬橋課長	嵐山町の現状では、場所が離れており、そういった利用は難しい。
	教育長	委員に諮る。委員、承認する。
	教育長	議案第29号 嵐山町立学校設置条例の一部を改正することについて
	高橋課長	嵐山町立学校設置条例の一部を改正することについて、資料に基づき説明する。
	嶋本教育長職務代理	この改正が議会で通れば、新しい学校について決めていけるということでよいか。
	教育長	この条例が通ると小学校1校、中学校1校というのが決定となる。今進めているものはあくまで計画である。様々な計画や補助金の事務を進める根拠となる。
	教育長	委員に諮る。委員、承認する。
日程4 協議事項	教育長	協議事項について、委員及び事務局に諮るが、特になし。
日程5 連絡・報告事項	教育長	連絡・報告事項について
	尾針副課長	①嵐山町学校統合準備委員会委員の辞任について、報告する。
	馬橋課長	②嵐山町秋のスポーツ・フェスティバル2024について、連絡する。
	嶋本教育長職務代理	各学校・幼稚園の運動会については特に割り振り等はせずに自由参加でよいか。
	教育長	無理のない範囲でご参加いただければ。
	高橋課長	日程については確認して連絡する。
日程6 その他	教育長	その他、委員に諮る。
	教育長	9月及び10月の定例会の日程について委員及び事務局に諮る。
	教育長	9月定例会は9月24日9時30分開会することに決定する。場所は302・303会議室とする。 10月定例会は10月22日9時30分開会することに決定する。場所は学校とし後日連絡する。
閉会	教育長	午前11時24分閉会を宣言する。
上記は会議のてん末を記したもので内容に相違ないことを証するため署名する。		
		令和 6年9月24日
	教育長	下村 治
	委員	中澤 恵利

